

令和3年度第1回 国土交通省大臣官房官庁営繕部入札監視委員会  
議事概要

開催日及び場所	令和3年7月28日(水) Web開催	
出席委員	委員長 田辺 新一 (早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科教授) 委員長代理 浦江 真人 (東洋大学理工学部建築学科教授) 委員 岩島 秀樹 (大地法律事務所 弁護士) 大野 由香子 (慶応義塾大学商学部教授) 丹羽 秀夫 (公認会計士 税理士)	
審議対象期間	令和2年10月1日～令和3年3月31日	
抽出案件	(備考)	
工事 [小計]	3件	以下の議事について官庁営繕部より報告 ・官庁営繕部工事及び建設コンサルタント業務等の発注状況について ・指名停止等の運用状況について ・入札談合に関する情報等への対応状況 ・再度入札における一位不動状況について ・低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について ・一者応札の発生状況について ・不調・不落の発生状況について ・高落札率の発生状況について
一般競争	3件	
公募型及び工事 希望型指名競争	—	
指名競争	—	
随意契約	—	
コンサルタント業務	2件	
合計	5件	
委員からの意見・質問、それに対する国土交通省の回答等	意見・質問	回答
	憲政記念館代替施設新築(20)建築その他工事 ・〇者が他者に比べて技術者の能力等において14.0とかなり高い点数になっているが、その要因は何か。	・より高い同種性が認められる同種工事の施工実績で5点、工事成績評価点の平均点が75点以上のため5点、表彰の実績で2点、同種工事に従事した立場で2点の加点となっており、他者はここまでの加点がなかったためである。
	内閣府新庁舎(仮称)整備等事業 ・構成員と協力企業との違いは何か。	・応募者を構成する企業のうち、PFI事業で設立する事業者に出資を行うのが構成員、出資を行わないのが協力企業という。
	中央合同庁舎第6号館外1件改修(20)電気設備工事 ・入札を辞退した者にも技術提案に対する加算点や施工体制評価点をつけることになるのか。 ・辞退の理由は何か。	・手続上、入札の前に提出されたものについては、その前に評価をしている。施工体制の評価は入札後になるので、評価していない。 ・ヒアリングの結果、機器購入メーカーと下請会社に交渉していたが、最後まで折り合いがつかず辞退したとのことであった。
	特許庁総合庁舎改修(20)工事監理業務 ・潜在的に手を挙げそうな会社は何者ぐらいあったという状況での1者入札だったのか。	・求めた業務実績を満たす者は相当多くいたと想定されるが、実際に資料をダウンロードした者は9者であったことを確認している。
	憲政記念館代替施設新築(20)設計その2業務 ・高い落札率となっているが、その理由は何か。 ・設計意図の伝達は、工事監理者に対しては含まれないという理解でよろしいか。	・本業務は随意契約であり、契約の相手方は落札するまで何回でも札を入れることが可能。仮に1回で落札できない場合でも、次回大きく価格を落とさず、少しずつ入札額を下げる傾向にあることから、予定価格にかなり近い金額での落札となったと考えられる。 ・設計意図の伝達にあたっては、工事監理者に対する説明も含まれる。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

## 抽出案件一覧

### 工事

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格の有無を確認した者の数 *1	入札数 *2	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率
一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事)	憲政記念館代替施設新築 (20) 建築その他工事	建築工事	20	15	R2.10.9	戸田建設 (株)	1,205,600	90.50%
一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事)	内閣府新庁舎 (仮称) 整備等事業	PFI事業	2	2	R3.1.29	永田町PFI (株)	47,338,857	92.10%
一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外)	中央合同庁舎第6号館外1件改修 (20) 電気設備工事	電気設備工事	2	1	R2.11.4	新生テクノス (株)	407,000	96.80%

### 建設コンサルタント業務等

入札方式	業務名	業種区分	競争参加資格の有無を確認した者の数 *1	入札数 *2	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率
一般競争入札方式	特許庁総合庁舎改修 (20) 工事監理業務	建築関係建設コンサルタント業務	1	1	R3.3.11	日和エンジニアリング (株)	41,799	92.41%
随意契約方式	憲政記念館代替施設新築 (20) 設計その2業務	建築関係建設コンサルタント業務	-	-	R2.11.9	(株) 山下設計	21,450	99.85%